2027年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）の概要

- 国際園芸博覧会は、国際的な園芸・造園の振興や花と緑のあふれる暮らしの創造等を目的に各国で開催。
- 2027年国際園芸博覧会は、最上位の国際園芸博覧会（A1）として開催するものであり、AIPH（国際園芸家協会）の承認と、BIE（博覧会国際事務局）の認定が必要（我が国では1990年の「大阪花の万博」に次いで2回目の開催）。
- AIPHの承認は2019年度に、BIEの認定は2022年11月に取得。

開催概要

位置付け：最上位の国際園芸博覧会（A1）
国際博覧会条約に基づく認定博覧会

開催場所：旧上瀬谷通信施設の一部（約100ha）
（横浜市旭区・瀬谷区）

開催期間：2027年3月19日～9月26日(6か月間)

参加者数：1,500万人（ICT活用等の多様な参加形態含む）
（有料来場者数：1,000万人以上）
※大阪花の万博では約2,300万人が来場

会場建設費：320億円

会場運営費：360億円

テーマ：幸せを創る明日の風景
～Scenery of the Future for Happiness～

開催者：（公社）２０２７年国際園芸博覧会協会

相鉄線「瀬谷駅」から北に2ｋｍ

国際園芸博覧会の位置付け

国際博覧会
BIE「博覧会国際事務局」
登録・認定
BIE：Bureau International des Expositions

【BIE】
- 「国際博覧会に関する条約」に基づき加盟国の拠出金によって運営されている組織
- 184ヵ国で構成
- 本部はフランス・パリ

登録博（旧一般博）	認定博（旧特別博）
1970 日本万国博覧会「大阪万博」	1975 沖縄国際海洋博覧会「沖縄海洋博」
2005 日本国際博覧会「愛知万博」	1985 国際科学技術博覧会「つくば科学万博」
2025 日本国際博覧会「大阪・関西万博」	1990 国際花と緑の博覧会「大阪花の万博」
	2027年国際園芸博覧会

国際園芸博覧会
AIPH「国際園芸家協会」
承認
※AIPH：Association Internationale des Producteurs de l'Horticulture

【AIPH】
- 国際的レベルで園芸生産者の利益を図り、園芸技術の向上を図るために設立された非営利団体
- 世界各国84の園芸・造園団体等により構成（日本では（一社）日本造園建設業協会が会員）
- 事務局は英・オックスフォードシャー

種別	A1	B, C, D
開催期間	３～６ヵ月間	小規模化
最低面積	５０ha	
BIE認定	必要	不要